



令和3年度 十和田市立三本木小学校 学校だより

令和3年5月6(木)

# 杉の子

No. 2

文責：校長

十和田市東三番町36-1  
TEL 23-7178  
特別支援教育センター  
TEL 23-9553

## みんなでつくる 新しい未来 きらめけ！三小スマイル

校長 江 渡 準 悦

今年度の体育フェスティバルのテーマが決まりました。なんと素敵なテーマなのでしょう。こういったテーマは、「勝利を目指して!」とか、「力を合わせて!」などのように、仲間の気持ちを鼓舞するような文言が多いと思いますが、子供たちがこのようなテーマを選んだことをとても嬉しく思いました。

このテーマには、次のような思いが込められているのだそうです。

「体育フェスティバル」となって2年目。「運動会」ではない新しい形の行事を自分たちの手で創り上げていきたいという思いと、競うだけではなく、全校のみんなが笑顔を輝かせ、この行事を楽しんで行えるようにしたい。

本校では、コロナであってもなくても、従来のように炎天下のもとでほぼ一日をかけての運動会は、児童の健康や安全を確保する上で望ましくない判断していたことと、短い期間に、運動会に向けて様々な行動を身に付けさせるために割く時間を、できるだけ減らしたいと考えていました。そこで、今までの運動会のイメージを引きずらないように新しい形の行事にするために、昨年度より「運動会」という呼称を止め、「体育フェスティバル」としてきました。

そして、コロナ2年目の今年、子供たちが自主的に「新しい形の行事を、自分たちの手で創り上げていきたい」と考えたことに、このコロナ禍の中でも、本校の校訓である「自立」「感謝」「進取」の意識が育ってきていることに、私たち三小職員は大きな手応えを感じているところです。

また、各学年とも体育フェスティバルに向けた練習が始まり、中でも当日最も注目される「よさこいソーラン」にはとても熱が入ってきています。4月中には、6年生から5年生へのよさこいソーランの踊りのポイントを教える場面もありました。「6年生は迫力があって格好いいと思いました。」「これくらいかっこよく踊れるように頑張りたい。」「僕も頑張って、当日お母さんを驚かせたい。」等といった振り返りも見られました。演技の善し悪しはもちろん大切ですが、こういった異学年での交流もとても大事な時間です。

5/22(土)の体育フェスティバルをどうぞお楽しみに。



## 「春の防災訓練を行いました。」



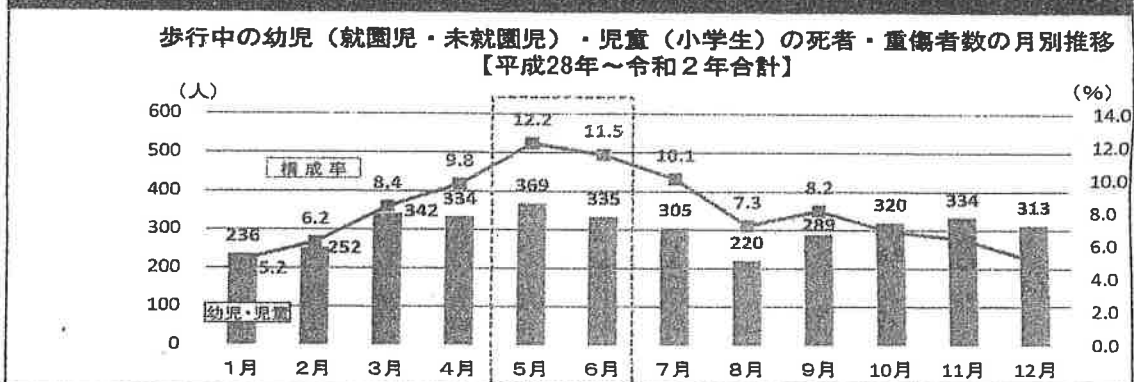
4/21(水)に防災訓練を行いました。目的は、教室や教室周辺からの避難経路を確実に覚えることと、緊急時にも慌てないで行動する態度を身に付けることでした。実施後の振り返りでは、「自分の命は自分で守り、休み時間などは、低学年の人にも声を掛けて守りたい。」や「訓練の時から、本当の地震の気持ちになって真剣にやるのが大事だと分かった。」などの意見や感想がみられました。地震はいつ起こるか予測できません。4/12(月)にご家庭に配布しました「学校運営に係るお願い『4児童が登下校中、通学路上で大地震が発生した場合』」を再度ご覧になり、大地震が発生した場合の適切な避難行動について、お子様と細かな動きまでご確認いただければと思います。



## 「児童の登下校時の安全確保について！」

文部科学省4月14日付の文書で、「児童の登下校時の安全確保について」と題し、下記の情報提供がありました。三小の子供が、誰一人交通事故に巻き込まれることがないよう、ご家庭と学校とでしっかりと子供たちに指導していきましょう。

### ○ 子供に関する交通事故発生状況



### ◆ 子供に関する交通事故の特徴

文部科学省総合教育政策局 4月14日付「児童の登下校時の安全確保について」を参照

- 歩行中死者・重傷者に占める幼児・児童の割合は5・6月にかけて上昇
- 幼児・児童の死者・重傷者は、いずれも歩行中が約6割と最多であり、児童では約3割が自転車乗中
- 歩行中幼児の死者・重傷者につき、時間帯では16～17時台、自宅からの距離別では50m以下が最多

## 「コロナ感染症についての勉強をしました。」

今年度もコロナウイルスに対する正しい知識を身に付け、感染予防をしっかりと行おうとする態度と、偏見や誹謗中傷をしない適切な判断と行動を取ることができる子供を育てるために、全学級で新型コロナウイルスに関する学習を行いました。学習後の振り返りには、「自分のために、家族のために、友達のために予防をしっかりとしようと思いました。」「感染者が広がると病院の人が大変になるから、予防をしっかりとしようと思いました。」といった感想がみられました。



私たち大人も、もし身近で感染の事例が起こったとしても、子供たちの良き手本となるよう心掛けて行きましょう。 介『保健室前の掲示物』